

# 小・中学校統合計画修正試案を発表

市教育委員会は「小・中学校統合計画修正試案」を発表し、いま各地区で説明会を開いています。そして同委員会は、みなさんから率直な意見や質問を出してもらいたい、なるべく早く最終的な案をまとめ、できれば42年度から実施したい考えをもっています。

## 教育行政の現状と課題

### ／みんなさんの卒直な意見を／

児童、生徒数が全国的に減ってきていることはみなさんが承知のことだと思います。市内のそれも年年減少しており、現在ある木造の校舎も年を追うごとに老朽化し、いたるところに修理しなければならない場所が発生してしまった。そこで同委員会は「小・中学校をいくつかに統合して、より施設設備や教職員の充実をはかり、良い環境のもとで授業をし教育効果を上げよう」と、昭和三十六年にはじめて統合計画案を作成し、それが実施に努力してきました。しかし、あれから五年を過ぎたいまおそれが実施されてしまふ。そこで同委員会ではこの計画案をもとに、新しく「小・中学校統合計画修正試案」をつくり、みんなと納得のゆくまで話し合おうと各地で説明会を開いているわけです。

いままでに開いた説明会で出た意見や質問とそれに対する解答をつぎにかかげました。

▼いまの校舎の整備は

①統合を完全に終るには七年か八年かかるそうですが、それでもいまの校舎の整備はどうするのか②中学校の案は二校にするものだが、ふたつの学校の学級差があり過ぎるがなぜか③なぜ統合して適正規模にするのか④統合する理由はわかるが、それによって通学距離が伸びる。その対策は?

① 中学校統合計画修正試案

	41	42	43	44	45	46
新飯田	(35)	(34)	(33)	(32)	(28)	(27)
茨曾根	1,532	1,496	1,394	1,335	1,191	1,162
庄瀬						
白根	(23)	(23)	(21)	(19)	(18)	(17)
白井	1,045	985	891	798	718	661
大鷲						
岸	(58)	(57)	(54)	(51)	(46)	(44)
計	2,577	2,481	2,285	2,133	1,909	1,823

  

	47	48	49	50	51	52	53
①	(26)	(26)	(25)	(23)	(23)	(22)	(22)
	1,116	1,104	1,035	959	941	935	937
②	(16)	(15)	(14)	(14)	(13)	(14)	(13)
	619	592	561	560	528	541	510
計	(42)	(41)	(39)	(37)	(36)	(36)	(35)
	1,735	1,696	1,596	1,519	1,469	1,476	1,447

### 小学校は七校に統合

小学校を十二校に、中学校を三校にしようという前の統合計画案ですと、せっかく統合したのに、十年もするとまた十校級を割る学校が出てきます。

#### ▼前の統合計画案

小学校を十二校に、中学校を三校にしようという前の統合計画案ですと、せっかく統合したのに、十年もするとまた十校級を割る学校が出てきます。

③ 小学校統合計画修正試案

① 新飯田	② 茨曾根	③ 庄瀬	④ 小戸林	⑤ 白鷲	⑥ 戸白	⑦ 大鷲	⑧ 松橋	⑨ 高井	計
41 (13) 519	42 (12) 470	43 (9) 314	44 (27) 1,148	45 (13) 476	46 (15) 574	47 (12) 408	(110) 3,909	(98) 3,638	
42 (12) 466	43 (11) 441	44 (9) 261	45 (28) 1,090	46 (12) 402	47 (14) 489	48 (11) 357	(97) 3,445		
43 (12) 441	44 (11) 417	45 (8) 377	46 (27) 1,042	47 (12) 408	48 (13) 459	49 (10) 332	(93) 3,274		
44 (12) 417	45 (10) 392	46 (10) 348	47 (8) 238	48 (12) 1,067	49 (9) 385	50 (11) 440	(91) 3,176		
45 (12) 392	46 (10) 366	47 (10) 322	48 (7) 231	49 (12) 1,051	50 (8) 382	51 (8) 438	(88) 3,077		
46 (12) 366	47 (12) 342	48 (9) 289	49 (6) 209	50 (7) 1,056	51 (7) 380	52 (7) 417	(85) 2,73	(85) 2,966	

④ 小学校児童・学級数の今後の推移

	41	42	43	44	45	46	47	
新飯田	(6) 239	(6) 215	(6) 209	(6) 189	(6) 183	(6) 173	(6) 166	
茨曾根	(8) 280	(7) 251	(7) 232	(7) 228	(7) 209	(6) 193	(6) 176	
庄瀬	(12) 470	(12) 446	(11) 405	(11) 377	(10) 348	(10) 322	(9) 289	
小戸	(9) 314	(9) 261	(9) 231	(9) 209	(8) 178	(8) 159	(8) 133	
白鷲	(27) 1,148	(27) 1,090	(27) 1,042	(27) 1,027	(26) 998	(26) 980	(25) 906	
戸白	(13) 476	(13) 402	(13) 382	(12) 360	(12) 348	(12) 327	(12) 306	
大鷲	(15) 574	(15) 459	(15) 438	(15) 417	(15) 397	(15) 376	(15) 355	
松橋	(12) 408	(12) 375	(12) 357	(12) 336	(12) 315	(12) 294	(12) 273	
高井	(10) 3,909	(10) 3,638	(10) 3,445	(10) 3,274	(10) 3,176	(10) 3,077	(10) 2,966	

### 六学級以下が九校も

十三人と少ないことです。これらについて皆川教育長はつぎのように話しています。「現在ある小学校の位置を考えてみると、ほとんどが信濃川と中の口川に沿っている。そこで現在の学校区やこの案で気にかかることは四十七年になると④の学校がなった。」

ここでは、その中からみんなが一番関心のあると思われる①統合計画修正試案、②児童生徒数の推移について表を用いて説明します。

広報「しろね」でわかりにくどころや質問意見がありまして、直接同委員会へ連絡するなりしてください。

係では、みんなの率直な意見や質問をお待ちしていま

ます。

中学校十年後の姿

中学校の児童や学級数がどのように変化するかを、表を利用して、各校ごとに説明してゆきます。

新飯田小学校は四十七年に

六学級百六十六人になり児童

数はことしより七十三人、茨

根小学校も六学級百七十六

人になり児童数はことしより

百四人、庄瀬小学校は九学級

二百八十九人になり、ことし

より八十一人、小林小学校

は六学級百三十三人になりこ

としより七十六人、戸頭小学

校は四十七年に四学級七十六

人になり、ことしより二十九

人、白根小学校は二十五学級

千六人になり、ことしより百

九人それぞれ減ります。また

鰐淵分校は二学級と学級数に

変わりはありませんが、生徒

数は五十人になり、ことしより八

三人になり、ことしより百

九人それぞれ減ります。また

高井小学校は六学級百四

人になり、ことしより八

十人になり、ことしより百

三十三人になります。大鷲小

学校は六学級百五十四人にな

り、ことしより九十六人、鶴

巣小学校は二十四学級九百四十三人が減ります。

また、全体的に見た場合は

十四学級九百四十三人が減ります。

これまで、児童の勉強意欲にさしつかえ施設設備を十分整えることもできません。

また、全体的に見た場合は